届け 世界の果てまでも

令和４年１１月２９日　Ｎｏ．４８　文責　校長　飯久保一男

やさしさについて　①

「やさしさって何？」と聞かれたら何と答えたらいいでしょう。

誰でも分かっていることでありながら，言葉で説明しようとするとうまく言えないかもしれません。

今号から３回にわたって，「やさしさ」について考えてみます。

その１【自分は後回し】

職場で，お茶菓子の差し入れが配られたり，職員のお土産が配られたりすることがあると思います。そんなときに，まず自分の分を確保する人をやさしいとは言いません。自分は先にもらっておいて，もらっていない人の世話をやく人もいるかもしれません。これもやさしいとは言いかねます。足りなくなるかもしれないのに余分に取る人…，絶対にやさしいとは言えません。

鎌倉のお土産「クルミっ子」

〇みんなが取ってから，残りがあるなら自分ももらう

〇残りがなくなったのなら，自分はもらわなくていい

〇自分はもらえなかったとしても，周りの人たちが満たされたのであればそれでいい

こんなふうに考えられる人，こういうことが普通にできる人，こういうことに喜びを感じられる人，人の喜びが自分の喜びとできる人は，やさしい人です。

日本では大きな災害のあと，配給などがあったときに，譲り合いながらきちんと並び，余計にもらう人はいません。さらには，他の人に回してほしいと，少ししか受け取らなかったという話も聞きます。日本人って，やさしいなぁと思う話です。

保護者の皆さんは，子どものことが最優先で，自分のことは後回しにして，様々なことを犠牲にしていることと拝察します。子どもたちでも，プリントを配ったときなどに人数分より少なかったという場面で，自分はプリントを受け取らずに他の子に渡して，１枚足りなかったと自分の分をもらいに来るというようなやさしい子がいます。

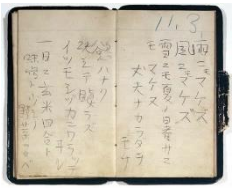
「自分は後回し」とすることは，周りの人を大切にするやさしさです。レベルの高いやさしさだと思います。こういうやさしい人と付き合っていると穏やかな日々が過ごせます。

自分の仕事を抱えている中で，人から仕事を頼まれることがあると思います。私の場合，本校の教職員から頼まれた仕事は，優先順位の最上位に位置します。私は見通しや計画性が甘いため，締め切りのギリギリになってからやる仕事も多いのですが，頼まれた仕事にはすぐに取り掛かります。ちなみに，本通信の作成の優先順位は下位になります。

ここまで書いて，私の頭に浮かんできたのは，宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の一節，

あらゆることを自分を勘定に入れずに

というフレーズです。



「雨ニモマケズ」が書かれた宮沢賢治の手帳 →

宮沢賢治が亡くなったあとに，手帳に記されていた「雨ニモマケズ」の詩が見つかりました。この詩は宮沢賢治が理想とした姿だといわれています。

私がこの詩を知ったのは，中学生のころだったでしょうか。自分の年齢や立場により，読み直すたびに，詩から受ける感じが違うことが不思議な詩だと思っています。

中学生のころは，冒頭部分から

「我慢強く生きるべき」

と感じていたように思います。大人になってからは

「自分のことより人のことを考えることが大切」

というように感じていました。還暦が間近となった現在では，

「ほめられもせず，苦にもされず，
　そういうものに，私はなりたい」

という言葉が心に響きます。そして，今回この紙面を書きながら浮かんできたのが，

「あらゆることを自分を勘定に入れずに」

の一節です。

人の評価に左右されず，人として大切なことを貫こうとした，宮沢賢治の意志を感じる詩です。それが，この詩に込められた「やさしさ」であると思っています。

どうすれば，やさしい心をもつことができるのか，どう育てればやさしい人に育つのか，こうすればいいのですよと，明言はできませんが，その答えの一つとして，前号でも書きましたが，やさしくされた経験のある人は人にやさしくできると思っています。世の中が，真の意味のやさしさであふれるように，人にやさしくできる人が増えてほしいと思います。

そういうものに
私もなりたい　　と思います。

雨にも負けず

宮沢賢治

雨にも負けず
風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けぬ
丈夫なからだをもち
欲はなく
決して瞋(いか)らず
いつも静かに笑っている
一日に玄米四合と
味噌と少しの野菜を食べ
あらゆることを自分を勘定に入れずに
良く見聞きしわかり
そして忘れず
野原の松の林の影の
小さな萱葺きの小屋に居て
東に病気の子どもあれば
行って看病してやり
西に疲れた母あれば
行ってその稲の束を背負い
南に死にそうな人あれば
行って怖がらなくてもいいと言い
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないからやめろと言い
日照りのときは涙を流し
寒さの夏はオロオロ歩き
皆にデクノボーと呼ばれ
ほめられもせず苦にもされず
そういうものに
私はなりたい

（原文は漢字とカタカナ表記，旧仮名遣い）

…次号に続きます。

…コロナ禍にあって，仲間との飲み会や職場の懇親会などをしなくなって久しいので，カラオケに行った記憶はだいぶ前のことになりますが，ヘタくそながら唸る歌に，河島英五の「時代おくれ」があります。その２番に

♫ 昔の友にはやさしくて　変わらぬ友と信じ込み
　あれこれ仕事もあるくせに　自分のことは後にする ♪

という歌詞があります。河島英五の歌はどれも好きですし，偶然にもキーが合うのですが，この部分の歌詞が気に入っている大好きな歌です。